

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公表番号】特表2007-523563(P2007-523563A)

【公表日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2007-031

【出願番号】特願2006-554090(P2006-554090)

【国際特許分類】

H 01 Q 19/10 (2006.01)

H 01 Q 7/00 (2006.01)

H 01 Q 1/38 (2006.01)

G 06 K 17/00 (2006.01)

【F I】

H 01 Q 19/10

H 01 Q 7/00

H 01 Q 1/38

G 06 K 17/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線識別(R F I D)システムであって、以下を備える、

R F I Dタグとの通信に必要な閾値レベルを超える電磁界を形成するアンテナであって、実質的に平面形状を有するアンテナ、及び

前記アンテナの周囲の、前記アンテナに平行な面内に位置決めされた、実質的に連続する導電性シールドであって、前記導電性シールドが、前記アンテナに平行な面上に延長された幅を有しており、前記導電性シールドを超える何れの領域の前記電磁界も前記閾値レベルよりも低い導電性シールド。

【請求項2】

前記導電性シールドと前記アンテナとが、2つの異なる平行平面に配置されている請求項1に記載のR F I Dシステム。

【請求項3】

前記アンテナが、電磁界を生成する複数の導電ループを備え、前記導電ループが、前記アンテナが通信する前記R F I Dタグの寸法に基づいて選択された少なくとも距離D離している請求項1に記載のR F I Dシステム。